矢端伸一朗氏，坪田隆宏准教授，倉内慎也准教授の論文が
第46回交通工学研究発表会 研究奨励賞を受賞

【受賞内容】

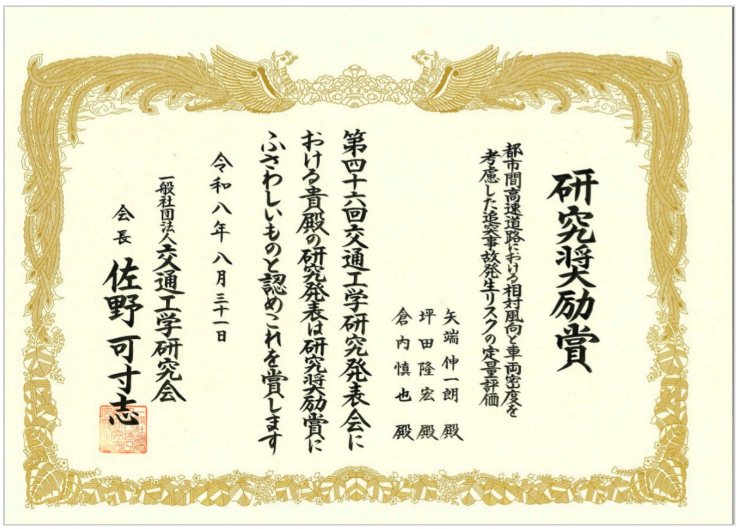
矢端伸一朗氏（R6卒・R8修，現NEXCO東日本），坪田隆宏准教授，倉内慎也准教授の論文が，第46回交通工学研究発表会（令和8年8月4～6日開催）にて研究奨励賞に選定されました。同賞は，研究発表会での発表論文の中から優れた研究発表を奨励するもので，発表された134編の中から3編が選定されました。

同論文は，矢端氏の修士研究の成果の一部を取りまとめたものです。当コースの教育・研究が顕彰されたことを嬉しく思います。

【受賞対象論文】

都市間高速道路における相対風向と車両密度を考慮した追突事故発生リスクの定量評価

【賞状】


研究奨励賞

都市間高速道路における相対風向と車両密度を考慮した追突事故発生リスクの定量評価

矢端 伸一朗 殿
坪田 隆宏 殿
倉内 慎也 殿

第四十六回交通工学研究発表会における貴殿の研究発表は研究奨励賞にふさわしいものと認めこれを賞します

令和 八年 八月 三十一日

一般社団法人 交通工学研究会
会長 佐野 可寸志

【記念写真】

